

(1)

公益財団法人 藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター



第221号



2021年(令和3年)1月発行
(公財)藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター
藤沢市鶴沼神明1丁目3番18号
藤沢市生きがい福祉センター内
電話 0466(27)1100

もやいとは、人と人とを結び付けること(共働・共助)

冬 早朝の富士山(山梨県山中湖村)

渡邊 義典



新年のご挨拶

理事長 井出 秀治



新年あけましておめでとうございます。

生きがい就労センター・会員の皆様におかれましては、健康やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年来、新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が我が国で初めて発令されるなど、当協会にとりましても、事業に大きな影響を受ける不測の事態となりました。

この様な中、会員の皆様には、格別のご理解とご協力を賜りましたこと深く感謝とお礼を申し上げます。

2021年には、延期を余儀なくされた東京オリンピック&パラリンピックの開催が待たれるところです。一刻も早く新型コロナウイルスのワクチンができ、今まで通りの明るく楽しい普通の世の中に戻ってくれることを切に祈る次第です。

今年の干支は「丑(うし)」です。動物の牛は、昔は農業で欠かせない貴重な家畜で、人々の生活の根本となる農業を手助けする大変貴重な存在でした。見た目はのんびりとしているもののしつかりと手伝ってくれる様子から、丑年は、粘り強さ、堅実さ、誠実さを表す年とも言われています。

当協会といたしましても、継続的に地域社会の期待に応えられるよう、しっかりと粘り強く、堅実な丑年となりますよう、本年も引き続き、会員の皆様にはより一層のご理解とご協力を賜るとともに、益々のご健勝とご多幸を心より祈念いたします。新年のご挨拶いたします。

現在、シルバー人材センター運営委員会並びにシルバー人材センター・生きがい就業センター安全委員会が設置されており、委員の適正就業に必要なルール作りや会員の安全、事故防止等を推進するための運営・協議が行われています。

今回、両委員会の委員長に寄稿していただきましたので、ご紹介いたします。

初年度テーマは「マナーの向上」

シルバー人材センター運営委員会

委員長 鳥羽 洋一郎



運営委員会の取組み

シルバー人材センターの継続的発展を目的とした運営

営委員会は、様々な職域から10名の委員の皆様にお集まり頂きスタートした、委員の会員による会員の為の委員会です。

現在、藤沢市の人口の凡そ4分の1が65歳以上です。この割合がこれから益々高くなっていく事は必至で、シルバー人材センターの存在意義は年と共にその重要性を増していきます。現役を引退した高齢者が再び社会参加し、若い世代をサポートしながら生き活きと活躍する。そこに喜びと生きがいを感じられたなら、こんな素晴らしい

しいことはありません。高齢化する日本の中で、私たちの手で藤沢市を住みやすいまちにしたい。そんな思いが委員会メンバーのモチベーションを高めています。

公園、公民館、駐輪場や街中、仕事先で、私たちは利用者や発注者等市民の皆様の声に良く耳を傾け、相手の立場に立って考え行動します。もし、ご意見やご要望があればセンター職員や行政担当者へ伝えてください。更に会員間で情報を共有化したり、意見交換が出来ればより効果的だと思います。

ここで鍵となるのは「コミュニケーション能力」と「接遇マナー」です。世の中の常識や価値観は不変ではなく、かつ世代間でも異なります。私たちには過去の経験や自分の考え方だけに囚われない、謙虚で柔軟な姿勢が求められます。

運営委員会ではそうした会員のコミュニケーション力、接遇マナー向上に向けた取組み方を協議しています。会員の皆様におかれましても、是非もう一度社会人に踏み出した頃の初心に立ち返って、就業に臨んで頂けたらと思います。

和顔愛語・先意承問の教え

過日、知人の法事の折、ご住職の法話の中のある言葉が耳に残りました。それは「和顔愛語・先意承問（わげんあいご・せんいじょうもん）」という教えです。その時

は聞き流していたのですが、後から調べてみると「思いやりをもつて相手の心の内を察し、考え、その思いを満たそうとすれば、自然に和やかな笑顔の表情と、慈愛に満ちた温かく優しい言葉が発せられ、それが最後には自分の幸福となって帰ってくる」という菩薩行の教えであることが分かりました。マナーを考える時、時代や年齢、職業を超えた世の中の真理として、コロナ禍で冷えがちな人間関係に温かさを取り戻す為にも、とても良い言葉だと思いい引用させて頂きました。

会員の皆様が少しでも長く社会参加できますよう、シルバー人材センターが益々発展しますよう、心から願っております。

安全委員会をどうぞんじですか

シルバー人材センター・生きがい就業センター安全委員会

委員長 大橋 義男



会員の皆様、日頃のお仕事お疲れ様です。

昨年はコロナウイルス感染症のニュースで始まり、ご苦労の多い年でした。手洗いの励行・マスクの着用など、感染症対策が求められる中で

の就業は、想像を超えるものではなかったでしょうか。

このような事態にも、日頃の就業活動にかかる安全対策・啓発活動などを主な役割としたシルバー人材センター及び生きがい就業センター安全委員会（以下「委員会」という）が設置されております。

委員会は、安全委員5名・安全推進員9名と事務局が補佐する私たちで、安全・適正就業マニュアルや年間の基本計画・実施計画を策定し、会員皆様の安全確保に向けた活動や対応を実施しています。

〈活動事例について〉

毎年7月は、シルバー人材センター安全・適正就業強化月間に定められていることから、この時期に集中して、事務局職員と共に現場巡回を行い、安全啓発を実施しています。

令和2年は、コロナウイルス感染症対策により、巡回実績としては5カ所／延べ21名（例年20カ所／延べ100名位）の活動にとどまりました。植木剪定・除草・清掃の現場に巡回し、啓発活動に努めました。

〈会議について〉

年3回、事故報告や対策を議論する場となっております。特にこの2年は熱中症対策を議論してきました。事務局から、もしもの時のシルバー傷害保険の適用もされ

たと確認しています。

〈委員長として〉

各職種で安全スローガンを出していただき、全体で安全を推進していきたい。

会員個人の「体力自覚の日」として：隔月、握力の計測実施（本部・分室）

事故ZEROを目指します。皆様のご協力を!!

みんなの海をきれいにしよう！
ビーチクリーンを実施しました

昨年の10月3日、片瀬西浜海岸において、今年度もビーチクリーンを実施しました。

全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月をシルバー人材センター事業普及啓発促進月間と定めています。このため10月は全国のシルバー人材センターで、加入促進、就業拡大の活動展開、ボランティア活動（清掃活動等）、社会奉仕活動、各種イベントへの参加等の事業が実施されました。

本市でもこの機に合わせ、（公財）藤沢市まちづくり協会シルバー人材センター並びに生きがい就労センターの各事業の普及啓発活動と会員の社会参加推進事業を兼ねて、ビーチクリーンのボランティア活動を実施しました。

当日は天候に恵まれ、深まりゆく秋の気配を感じながらも気温は真夏日の様ななか、一般参加者や会員と協会役員等の方々と交えて実施され、会員相互をはじめ、協会役員との親睦も図ることが出来ました。

（公財）藤沢市まちづくり協会井出秀治理事長の開催の挨拶の後、参加者の皆さんは可燃ごみや不燃ごみの袋をそれぞれ手に、一斉に砂浜に散つていきました。

海岸のごみ清掃は、多くのボランティア団体、企業、自治会等の皆さんの献身的な努力に支えられて、大切な海の環境や資源が守られています。昨年藤沢市は新型コロナウイルスの影響で海水浴場を開設しなかったため、7月～8月の利用者は推計で25万6300人だったと発表しました。前年同期の海水浴客総数と比べ、83%減となったということとです。この影響によるものと思われませんが、例年より更にごみの量が少ないように思われました。

参加された皆さんは、細かい、いろいろなごみを丁寧に拾い集め、可燃・不燃ごみ袋に分別収集されていました。1時間ほどでビーチクリーンは無事所期の目的を達成し終了することができました。

シルバー人材センター・生きがい就労センターでは、健康で働く意欲のある方に、さまざまな就業

の機会を提供しています。

今回は、シルバー人材センター・生きがい就労センター事業普及啓発促進のため、昨年度同様会員と市民が共同で行う海岸清掃ボランティア活動（ビーチクリーン）を実施したのですが、このほかにも、両事業を紹介するDVDの貸出しやホームページでの紹介もしております。

最近には特に少子高齢化による様々な人手不足が深刻となり、シルバー人材センターに対する労働力として貢献する社会的要請や現役世代の下支え、また地域における存在意義が高まっています。この期待に応えるために、会員確保の拡大と就業開拓・事業発展に向けて一層の努力をこれからもしてまいります。



ご参加いただき、ありがとうございました

会員の活動紹介

史跡歩き同好会

山本 伸哉

しばらく振りの「史跡歩こう会」になりました。今回は、東海道線二宮駅周辺の史跡歩きをすることにしました。二宮と言えば「吾妻山公園」ですが、そこをはずして周りを歩くことにしました。二宮駅北口を降りて東海道新幹線方向に向って歩き始めました。

4～5分歩くと左側にある印刷会社の壁面に東海道五拾三次の旅景色の版画が飾られていました。その中に五拾三次の中にはありませんが、二宮の版画がありました。鶴の絵が彫られている版画です。その後、徳富蘇峰記念館を尋ね館内に入り、案内の人に色々な展示物を説明していただいた。文久三年に生まれて昭和三十二年94歳で逝去された文筆家で中曽根元総理大臣も訪れたそうです。そこを後にして、果樹公園で昼食をとり、ラディアン花の丘公園から龍澤寺を見学し、大応寺から曾我兄弟の墓がある知足寺を巡って、二宮駅到着でした。藤沢駅から二宮駅周辺の三時間の史跡歩きでした。

史跡歩き同好会 募集と連絡先
電話 23-5632 山本伸哉

川柳・五行歌通信

若林 琢磨

明けましておめでとうございませす。

今年こそは新型コロナも収まり、明るい年にと願っています。体力をつけておく事が最大の防御の様です。今号は有名人の「名言」を、いくつかご紹介しようかと思います。

養老先生の『さかさま人間学』より
“忙しい人は時間の余裕がない。

きまじめの人や、悲しんでいる人は笑う余裕がない。

病気の人は元気に動き回る余裕がない。

そう考へてみると、「余裕」って大事な言葉ですね。余りが裕になる。君も探してみたら、きつとどこかに余裕はあるはずですよ。

(二〇二〇年五月十八日付)

神奈川新聞より引用)

『樹木希林120の遺言』より引用

(宝島社)

☆誰かに添って生きるって、人間が成熟していくために、必要なことだと思ふの。

☆ああするべきだ、こうしちゃうけない、ああしちゃういけないというものの中からは、人は育たない気がする。

☆家は女がしつかりしないとダメ。カカア天下くらいでちょうどいい。

☆やり残したことなくて、死んでみないとわからないですよ。

次は若き天才詩人『金子みすゞ』の代表作です。

●こだまでせうか●

「遊ぼう」 っていふと

「遊ぼう」 っていふ。

「馬鹿」 っていふと

「馬鹿」 っていふ。

「もう遊ばない」 っていふと
「もう遊ばない」 っていふ。

さうして、あとで
さみしくなつて

「ごめんね」 っていふと
「ごめんね」 っていふ。

こだまでせうか
いいえ、誰でも。



朗報です。川柳・五行歌を愛する方が入会されました。その人の名は「次郎」さん。

昨年の八月発行の「もやい」第219号の句題「藤沢」から早速三句、江の島の素敵な絵手紙に乗せていただきました。
(関根次郎さん、絵描きさんなんです)
その中の一句、
『江の島で藤沢の位置知れわたる』
これをヒントに、柳界のスターラインに立たれた次郎さんにお祝いの句をプレゼントしました。
『江の島の急坂見上げ初句を詠む』
今年も素敵な(冷や汗)川柳・五行歌をお届け致します。ご期待ください😊
なお、当同好会にご参加の方は、左記の森本、若林までご連絡ください

川柳同好会

句題 『餅』

森本 生雄 310023
若林 琢磨 8111407

中庭で孫が喜ぶ杵の音 《新之助》 月餅を求めはるばる中華街 《裕助》
モチ米をこねる臼釜父の腕 《しんのすけ》 おぞ煮のボクは七つで母は十 《ゆうすけ》
仏壇に供え元旦鏡餅 《シンノスケ》 子だくさん分けあう餅のこのうまさ 《ユウスケ》
おしる粉の貧しき頃の餅一つ 《太郎》 一年中餅を食べてる食文化 《次郎》
満月のウサギに合わせ杵を打つ 《たろう》 モチつきも今は機械化バック入り 《じろう》
年の暮れ家族総出のペタンコ 《タロー》 モチ肌の秋田美人に二度も惚れ 《ジロー》

五行歌

正月の しもやけの子 お正月
料理も 練炭火鉢で 孫も娘夫婦も
あきた 焼いたモチ 来ない
四日目 おこげの香り 我が家には
コンビニ おふくろの味 アマヒエがいるのに
生雄 次郎 もも子

(皆様からの旅行記等記事を募集中です!!)